

校地測量および模型製作

私たちは、3年間で学んだ土木の知識・技術・技能を活かし、校地を測量し地積図と校舎模型を製作することにしました。学習のポイントとしてできる限り正確な図面を仕上げることを目標としました。そのためには、測量を始める前に校内を入念に踏査し、境界線の確認に時間をかけ観測に適した測点の選点作業を行いました。また、測量の閉合トラバースの閉合誤差を公共測量作業規定3級に合格することとしました。

年間の計画

4・6月	踏査・選点・トラバース測量
7・9月	細部測量
10月	地積図作成
11・12月	模型製作
1月	発表準備



測量の成果は天候の不順で思うような精度が出ずに何回も観測を繰り返すことになりました。

模型製作では、模型の適正規模、建物のサイズから地積図の縮尺と同じ1/300としました。使用する材料は、縮尺の関係から硬く、加工がしやすいゴールデンボードを主体とし製作過程は、模型台の製作、配置図の作成、敷地の製作、建物の製作、模型の完成の順序で活動しました。

模型製作を終えて、模型を作ることの大変さが現実のものとしてわかりました。またグラウンド周りの測量では地域の方々に測量器具など興味をもってもらえました。測量は外業・内業があり、長時間の作業に耐えられる集中力が必要であることを、体験を通して学ぶことができました。

